

令和6年度三大学シンポジウム

地域研究の知は どのように地域と つながるか？ 課題と可能性

令和7年
1月30日 木 16:00~
18:30

申込不要

入場無料

定員50名

場所 ▶ 弘前大学人文社会科学部 4F多目的ホール
▶ オンライン

対象 ▶ 一般、行政関係者、学生、関係者

人文社会科学系の学問は、地域の豊かな文化資源を拾い上げ、地域に生きる人々と課題を解決していくことが期待されています。これまでも個々の研究者の研究活動、あるいはアウトリーチを通じて人文社会科学は地域と十分なかかわりを持ってきたといえます。他方で、研究によって生み出された成果がどのような長期的インパクトを持ちうるのかは必ずしも明確化されていません。

本シンポジウムでは、弘前大学、三重大学、島根大学が地域に根差して展開してきた研究・実践の事例を共有し、研究の地域活用にかかわる課題と可能性を議論することをねらいとします。

主催／弘前大学人文社会科学部・弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター

問い合わせ先

弘前大学人文社会科学部 地域未来創生センター

プログラム

司会：平野 潔（弘前大学人文社会科学部教授・地域未来創生センター副センター長）

▶ 16:00-16:05 【挨拶】

曾我亨（弘前大学理事（研究担当）・副学長）

▶ 16:05-16:10 【趣旨説明】

日比野 愛子（弘前大学人文社会科学部教授・地域未来創生センター長）

▶ 16:10-17:25 【講演】

李 永俊（弘前大学人文社会科学部 教授）

「地域への愛着を育み、持続可能な未来を創る：若者の地元定着を促す長期的なアプローチ」

深井 英喜先生（三重大学人文学部 教授）

「産業・就業構造の変化から見る地域共生社会構想の課題」

関 耕平先生（島根大学法文学部 教授）

「島根大学における地域研究 地域づくりの主体形成を展望して」

▶ 17:25-17:35 休憩

▶ 17:35-18:20 【パネルディスカッション】

コーディネーター：日比野 愛子（弘前大学人文社会科学部教授・地域未来創生センター長）

豊福 裕二先生（三重大学人文学部長）／田中 則雄先生（島根大学法文学部 教授）

李 永俊（弘前大学人文社会科学部 教授）／深井 英喜先生（三重大学人文学部 教授）

関 耕平先生（島根大学法文学部 教授）

▶ 18:20-18:30 【閉会の挨拶】

飯島 裕胤（弘前大学人文社会科学部長）

